

教員も成長できる福井フューチャーマイスター制度

福井県立敦賀高等学校 教諭 櫻井 丈晴

「福井フューチャーマイスター制度」は、福井県教育委員会が2015年秋に創設した制度で、職業系学科に学ぶ高校生を対象に取得した資格や技能検定、各種コンクール、企業実習の参加実績などを難易度などによって、Sランク（30点）からEランク（3点）の6段階に分けて点数化します。

生徒は、各種のランクに応じた点数を合計した上で、「ゴールド（合計50点以上）」、「シルバー（合計35点以上）」、「ブロンズ（合計20点以上）」として認定されます。さらに、学科ごとに定められた合計点数に達した生徒については、マイスター最上位の「プラチナ」として認定されます。このことにより、生徒が資格検定に取り組む際の目標を数値化できます。生徒からは「ゴールドまで、あと0点!」、「次、1級が取得できればゴールドになる!」などの声があり、学習意欲の向上につながっています。また、各学科で取り組んでいる競技大会やコンクールについても点数化されています。さらに、一部の検定については受験料への補助金が出ることから、生徒たちにとっては積極的にチャレンジできる制度となっています。

生徒たちが目標を達成するためには、我々教員のカも必要になります。そのため、日々研鑽を積んでいく必要があります。職業系の専門的な知識・技能は社会情勢に合わせて変化し、それに伴い資格検定の内容も変更されます。当然、我々教員も新しい出題内容を指導できる力が必要となることから、教員にとっても成長できる制度となっています。